

令和元年 飯田市教育委員会 9月定例会会議録

令和元年 9月12日(木) 午後3時00分開会

【出席委員】

教育長	代田 昭久
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	伊藤 昇
教育委員	三浦 弥生
教育委員	小澤 由美子

【出席職員】

教育次長	今村 和男
学校教育課長	桑原 隆
学校教育専門幹	高坂 徹
生涯学習・スポーツ課長	北澤 俊規
文化財担当課長	馬場 保之
市公民館副館長	秦野 高彦
文化会館長	棚田 昭彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長	池戸 通徳
歴史研究所副所長	小椋 貴彦
学校教育課長補佐	滝沢 拓洋

日程第1 開 会

○教育長（代田昭久） こんにちは。ただいまより令和元年9月定例会を開会したいと思います。
本日もよろしくお願いいたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（代田昭久） 日程の第2 会期の決定。
会期は本日1日のみとさせていただきます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（代田昭久） 日程第3 会議録署名委員の指名。
今月は、伊藤 昇教育委員にお願いしたいと思います。
○教育委員（伊藤 昇） はい。
○教育長（代田昭久） よろしくよろしくお願いいたします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（代田昭久） 日程第4 会議録の承認。
第2回会議録及び8月の定例会の会議録ですが、加筆・修正等ありませんでしょうか。
（承認の意思確認）
○教育長（代田昭久） それでは承認をよろしくお願いいたします。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（代田昭久） 日程第5 教育長報告事項。
それでは、A4の紙5枚用意させていただきましたので、そちらによって説明をさせていただきますと思います。
今月の報告事項としては、現在も定例会中ではありますけれども、一般質問で教育委員会、特に教育長に答弁を求められたことを中心にご報告をさせていただきたいというふうに思っています。大きくは5名の議員の方からありました。
1つ、竹村議員からは、小中学校のエアコンの状況についてご質問がありました。
ここのメモには書いてないですが、「今、集中管理で行っているんだけど、もっと各教室に対応すべきじゃないか」というようなご質問がありましたけれども、「今はセンター

を、管理をしながら、学校別に状況には適宜対応するような形で行っている」という大きな方向をお伝えしながら、質問の2番目としては、「冬季はどのように考えるのか」と、「エアコンを使うのか」というご質問の中で、「今回設置したエアコンについては、夏季のみの使用としています。」と「冬はペレットストーブ、もしくは石油ストーブ等の既存な学校設備を使用することとしています。」

その理由としては、「飯田市では、環境モデル都市の政策の一環としてペレットストーブの導入も進めてきている現状ですので、今後においても環境政策の推進を含めた暖房器具の検討を進めている」ということでお答えをしています。

2番目、中学校の部活動について質問をいただきました。竹村議員の意図としては、ご自身も保護者であり、また、部活の指導員もいただいているので、そんな中で、やはり長時間やっていることに対しては課題意識を持っていただき、また現場の保護者として(3)番にあります、「もっともっと、なぜ今部活動の方針を見直すのか十分に理解をしてもらう必要があるのではないか」、こんなスタンスに立ってご意見をいただきました。

(5)番にありますけれども、「今後は同じ部活動が社会体育にあるのであれば、部活動は学校だけでやるんじゃなくて社会体育活動にゆだねていくような時期に来ているのではないか」ということで教育委員会の見解を尋ねられましたが、「まさにそのとおりで、学校がすべてスポーツ活動を担うということではなくて、さまざまな柔軟な発想や取組が必要だと考えている」ということでお答えをしています。

さらには、「今進めているその受け皿づくり、選択肢、もっとやりたいとか、または違うスポーツをやりたい、そういう選択肢づくりはどこまで進んでいるのか」という質問がありました。その中で、6月から8月にかけて、中学生期のスポーツ活動関係者会議を3回実施してきたと。特に8月25日に行われた第3回の会議では、さまざまな意見が寄せられて一歩進んだ提案も受けたと。

そのうちの1つが、プロスポーツと連携した全市、1つの市を地域と見立てた「全市型競技別スクール」の開催、また、さらには中学校区を単位とした文化・スポーツ活動、さらには中学校区を超えたクラブの設立、こういった提案、また、可能性が見いだされた会議であったということを伝えています。

いずれにしろ、この改革が「スチューデントファースト」、子どもたちにとって、さらには子どもたちの主体性、内発性、発達段階に適応したスポーツ環境であること、これの軸をぶらすことなく進めていきたいとそんなふう考えていることも伝えました。

ウとして、飯田市の教育について、新井議員から質問をいただきました。

「大雑把に今までの小中連携一貫教育について、ICT教育について、コミュニティスクールについて、どういうふうに進んでいるのか」という概要を問われましたので、概要を答えると同時に、質問の論点は（４）番になります、４ページの（４）番、「学区の見直しについて、地域からの声をどのように把握し、どのように対応するのか」、さらには、（６）番、「学校の統廃合について」。

新井議員、市政懇談会にはかなり出席されていたので、丸山地区、羽場地区で中学生のほうから「学校統廃合をして、もっとスポーツを充実させてほしい」という声があったことを直接聞いておりました。そんなことも現場にいた議員のほうからも、「こういった声をどう受け止めているのか、どう対応していくのか」という質問がありました。

さらには、義務教育学校についてということで、義務教育学校についての現在の取組についても、これは前段からさらに大きな飯田市の教育の取組について質問がありました。

飯田市教育委員会として、下線にありますように「今までコミュニティスクールの学校運営協議会や市政懇談会でさまざまな学区の見直しや中学校の統廃合についてのご意見が出ているのは認識しています。で、それぞれ議論していただいていることは大変ありがたい。今後もそういった議論には寄り添っていきたいという前提の上で、ただ、各地域ごとで議論していても限界があるので、全市的な視点から今後どのように検討していくのがよいのか、研究を始めることが必要であると考えている」ということを答弁させていただいています。

ですので、今までの「各地域でご検討ください」よりも、「全市の視点で」ということで一歩踏み込んだ発言をさせていただきました。

一番最後にある新聞記事の２のほうに、その発言の内容、南信州新聞でも記事にさせていただきましたので見ていただければと思いますが、今言った内容を書き、新井議員のほうからは「旧態依然の考えに縛られることなく、今後、全市的な協議・議論を進めてほしい」という要望もありました。

質問に答える形にはなりましたが、今後やはり中長期的に見て、子どもたちの教育のあり方はどうあったらいいのかということを考えていきたいというふうに思っておりますので、皆さんにもご承知置きと、また、ご意見等をいただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

村松まり子議員からは、性的少数者LGBT等の進み具合、教育現場での対応についての質問がありました。

いわゆるLGBT等の教育に関しては、生徒児童の中にもいるということを前提としながら差異や多様性を認め合う、いたわり合う心をはぐくむ教育を推進しています。

教職員の研修においては、県教委が開催する「性の多様性研修会」や性的少数者が講師として派遣される「人権講演会」に養護教諭などが参加し、研究した内容を各校に持ち帰り職員に周知しているという状況で、進んでいないというよりは着実に一歩ずつ進んでいるという現状をお伝えしました。

次6ページめくっていただいで最後になりますけれども、教育委員会として大事なことは、もちろんこのLGBT等の教育も大事なんですけれども、大前提として、自分の考えや既成概念に合わない少数者を差別すると、排除するということではなくて、1人の人間としてお互いにお互いを認め合う、そういう力を、また関係性をはぐくんでいきたい、そんなことを考えております。

5として、飯田市の平和教育について、木下容子議員からありました。

「平和教育の語り部が急務だと思う。平和教育をどういうふうにしていくのか」ということで、現状をお伝えしながら、飯田市でもこの語り部がみずから「自分たちが伝えたい」という自発的な意思が生まれるように協力をしていきたいというふうに考えています。

また、カのところに行きますけれども、「小中連携一貫教育をさらに進めるべきではないか」ということで、「幼保、特に小学校以前との接続についてもっと力を入れていったほうがいいんじゃないか」ということの意図を含めた質問がありました。

飯田市では、小学校と幼稚園・保育園との連携というのは、少しずつ充実してきているなあというところが現実だとは思いますが。特別支援教育の担当者が年度に3回、就学をひかえた保護者の皆様を対象にした説明会にも本当に大勢来ていただき対応、また、「ありがたい」という声もいただいているので、こういったことは形になって充実してきているかなあというふうには思います。

ただ、議員の求めるレベルの幼保小連携にはまだまだ至っていないところも事実だと思います。そんなところでしっかりと連携を図っていきたいというのが飯田市教育委員会としての答弁をさせていただきます。

あと細かいところはぜひ読んでいただいて、ご承知置きいただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

2点目、紙には記入しておりませんが、来月10月8日をもって小澤由美子委員の任期が満了いたします。小澤委員に関しては、本当に1期3年間ありがとうございました。改めて感謝申し上げたいと思います。

特に保護者の立場から建設的なご意見をいただいたなあというふうに思っております。特別支援教育のあり方とか、連携のあり方とか、小中連携一貫のあり方とか、そういうことに

関しても本当に現場の保護者としての真摯なご意見をいただき、我々の施策にも本当に生かすことができたんじゃないかなというふうに思っています。

さらには、いろんな交流会の中で、水引親善大使としてイヤリングやそれぞれの贈り物を作っていただき、そういったことをほかの自治体の教育委員さんにもアピールしていただいたのは、これは小澤委員にしかできなかったありがたいことだなあというふうに思っています。さまざまなお力添えをいただいたことに感謝したいと思います。

定例会での出席は本日が最後になりますが、任期ぎりぎりまで学校教育訪問が入ったりとありますけれども、あと1カ月引き続きよろしくお願ひしたいというふうに思っています。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

以上、私のほうからの教育長報告事項とさせていただきますと思います。

何かご意見ご質問等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それではよろしくお願ひいたします。

日程第6 議案審議（5件）

○教育長（代田昭久） 日程第6 議案審議。

本日の議案審議は5件になりますのでよろしくお願ひいたします。

議案第46号 飯田市スポーツ推進審議会委員の任命について

○教育長（代田昭久） それでは、まず、議案第46号「飯田市スポーツ推進審議会委員の任命について」お願ひします。

北澤課長、お願ひします。

◎生涯学習・スポーツ課長（北澤俊規） それでは議案第46号をお願ひいたします。「飯田市スポーツ推進審議会委員の任命」です。

飯田市スポーツ推進計画やスポーツの推進に関する重要事項を調査・審議することを目的・役割としております。以下、11名の方を任命するものであります。任期については、令和3年3月31日までとなります。

審議のほうよろしくお願ひいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいまの説明について、何かご質問ご意見等はありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それでは、任命については、承認ということでよろしく願いいたします。

議案第 4 7 号 学校体育施設開放運営委員会委員の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第 4 7 号「学校体育施設開放運営委員会委員の任命について」をお願いします。

北澤生涯学習・スポーツ課長、お願いします。

◎生涯学習・スポーツ課長（北澤俊規） よろしく願いします。

議案第 4 7 号をお願いいたします。「学校体育施設開放運営委員の任命」です。

伊賀良小学校及び旭ヶ丘中学校、それぞれ 1 名ずつ任期中の役員の交代があり、後任の方を任命するものであります。

学校体育施設の開放の計画、体育施設の管理方法を目的・役割としているものでございます。

任期については、令和 3 年 3 月 3 1 日までとなります。

以上、ご審議のほうよろしく願いします。

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

ただいま議案第 4 7 号の説明がありましたけれども、何かご質問ご意見等ありますでしょうか

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それでは、議案第 4 7 号、承認ということでよろしく願いいたします。

議案第 4 8 号 公民館長の任命について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第 4 8 号「公民館長の任命について」をお願いします。

秦野市公民館副館長、お願いします。

◎市公民館副館長（秦野高彦） それでは公民館長の委嘱についてお願いをいたします。

本議案は、土屋寿憲三穂公民館長が急逝されたため、社会教育法第 2 8 条により、教育委員会の任命を求めるものでございます。任期につきましては、前公民館長の残任期間としまして、令和 3 年 3 月 3 1 日までといたします。

任命いたします館長は、飯田市伊豆木 4 2 9 番地、久保田克彦氏でございます。よろしく

お願いします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま議案第48号の説明がありましたが、何かご質問ご意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、それでは、議案第48号は、承認ということでよろしくお願ひいたします。

議案第48号 令和元年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第49号「令和元年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」お願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、議案第49号「令和元年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」お願ひをいたします。

認定対象者につきましては、別冊で用意をいたしましたとおりでございます。それぞれ記載いたしました認定要件にてお認めいただけますようご提案申し上げますのでよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

議案第49号の説明がありましたが、ご質問ご意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第49号、認定ということでよろしくお願ひいたします。

議案第50号 教育功労表彰者の決定について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第50号「教育功労表彰者の決定について」お願いします。

北澤生涯学習・スポーツ課長、お願いします。

◎生涯学習・スポーツ課長（北澤俊規） それでは、議案第50号お願ひいたします。「飯田市教育功労者表彰者の決定について」でございます。

「飯田市教育功労者表彰規定」第3条の規定により、福沢治雄様を教育功労者表彰者に決定したいとするものであります。

提案理由といたしましては、教育功労表彰の候補者として美術博物館から推薦があったので、功労内容については記載のとおりでございます。

飯田市教育功労者表彰第3条の規定により、教育功労表彰者に決定いたしたく提案するものでございます。

ご審議のほうよろしくお願いいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま議案第50号についてありましたが、何かご質問等ありますでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、それでは、議案第50号、決定でよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

以上で、議案審議を終了いたします。

日程第7 協議事項

○教育長（代田昭久） 日程第7 協議事項。

今月の協議事項はございません。

日程第8 陳情審議

○教育長（代田昭久） 日程第8 陳情審議。

今月の陳情審議はございません。

日程第9 その他

○教育長（代田昭久） 日程第9 その他。

（1）教育委員報告事項

○教育長（代田昭久） （1）番、教育委員報告事項。

教育委員の皆さんから報告事項あればよろしくお願いいたします。

三浦教育委員、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） それでは、2点お願いいたします。

1点は、中学校の教育課程の研究協議会のほうへ出席させていただいております。中学校の英語ということで見せていただきました。

感想としては2点ですけれども、ALTの先生方も出席されておりました。研究授業等見させていただきまして、中学生の生徒さんがALTの先生その英語をしっかりと聞いて、一生懸命本当の英語から単語を拾おうとして、目を見て、理解して一生懸命しゃべろうとするその姿が、本当に英語の授業かと思って考えておりましたけれども、1つの英語についてはコミュニケーションのそういった学びもあるんだなというところをととても感じたところです。

そして、もう1つ、そちらのほうの校長先生のほうからの最後の感想ということでのまとめのご発言の中に、「小学校で英語が今度始まると、小学校では一生懸命英語を専門としない先生方が教材研究を一生懸命しながら、子どもたちに英語を教えるというそういう取組をしている。英語に興味を持たせようと思って一生懸命その興味を持って、子どもたちがわくわくしながら中学校に入学をしてきたら、そういった小学校の先生方の思いも、また、子どもたちのその興味を持った思いをつぶさないように、今度は中学校で正確な英語をぜひ教えてもらいたい」というようなそんなお話がありまして、「あ、なるほどな」と、小学校で英語をスタートさせる意味が、子どもたちが英語嫌いではなくて、わくわく興味を持てる、それを中学校でしっかり正しい英語を教える。そして、ALTの先生方がいらっしゃる意味、コミュニケーションをとるというそういうところを併せて見させていただきまして、とても委員として勉強になりました。

もう1点は、南信教育事務所の曾我先生の学校訪問への帯同ということで、昨日ですけれどもさせていただいております。報告書はまた書面で出させていただきますが、昨日の今日でするので口頭で2点だけ。

学校全体としましては、とても落ち着いた中でといたしますか、教職員のとても人間関係がしっかり、信頼関係、人間関係ができていたところをととても感じまして、そんな中で子どもたち、これまで本当に高学年の子どもたちが少し荒れていてというそんなときもあったようですけれども、でも、とても安定しているといったところを感じまして、地域、保護者からのアンケートも「子どもたちが楽しく学校生活を送っているといったところの点が、去年に比べて改善があった」というようなお話を聞きますと、やはり教職員の人間関係、それが子どもにも伝わり、地域とも伝わりといったところを感じております。

2点目は、環境についてです。

行かせていただいたのは竜丘小学校のほうに行かせていただいております。トイレの改修ということで、トイレの最終的な工事が終わりました、きれいなトイレを子どもたちが使っているということで、そんな姿も見させてもらっておりまして、やはり学校というところの環境が整うとああいうところがとても大切だなということを感じております。

そして、エアコン、エアコンついておりまして、本当に今まではあまり感じなかったですけども、これまで考えてみれば額に汗して髪の毛がべったり顔につくような形で汗かいて、子どもたちが、先生たちも授業していたことを考えますと、本当に良い環境で授業ができていたところを本当に肌で感じてきました。

委員としても見てきたその中には、図書館というところ、特別教室がありまして、エアコンのついていない教室にもちょっと入らせていただきましたが、逆にその不快感というものもちょっと感じた次第です。図書館は窓が開いていまして、読み聞かせを授業ですといったところでしたが、暑くてやはりちょっと図書館が使用できなくてというようなところもお聞きしたりしました。

図書館や音楽室や理科室やという特別教室に今度エアコンがないといったところが逆にちょっと気になりまして、そうなってくると環境を整えていく、あんまりちょっと自分も去年あまりイメージしておりませんでしたけれども、学ぶ環境、身体にストレスがない環境で学ぶ場所を提供していくことの必要性を今回別の教室で感じると、特別教室の環境も整えていくといったところがまた大事なかなあということを感じております。

もう1つだけ済みません。

あと、先生方の働き方改革ということでもお話をいただいております。「タイムカードの7月からの導入によって、やはり早め早めの退勤というところできてきている」ということをお聞きしております。「タイムカードを導入したということの効果がある」というお話でした。

併せて、留守番電話を入れたことによって、夕方からのその電話に対応するという教員の仕事が軽減されたことで、教員がその時間から教材研究とかを行えることで、また早く帰れるといった留守番電話での効果もあるというようなお話でした。

子どもたちにしろ、教職員にしろ、やはりこういった環境を整えていくお金の掛かることではありますけれども、必要なんだなあということを感じました。そんな先生からいろいろな視点でご指導をいただいております。

また報告書として提出いたします。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

北澤教育長職務代理人、お願いします。

◎教育長職務代理人（北澤正光） 私からは、2点になります。

1点は、8月24日の話北澤正光ですけれども、先生方の教育研究集会というのがあって、そこへ行かせてもらいました。

こちらは、教職員組合と校長会とが共催で行っているものなんですけれども、日々の実践をレポートで持ち寄って、お互いの悩みや実践を語り合うというのが基本的な枠組みのものです。若手の先生とベテラン、校長、教頭も含めた皆さんが全く平場で意見交換をするという場所です。具体的には「その教材はどこに行けば手に入るか」とか、そういうようなことも含めて情報交換していました。自分がいろいろな分科会を回って興味深かったのは、小学校英語の分科会でした。

そこで、中学校から今年、小学校の英語専科に行った先生の発表があったんですけど、その先生が今年、例えば小学校6年生の英語を教えながら実態調査をした中で、6年生の段階で既に英語の苦手意識を持っているという子が何人かいる。

一方、6年生だけれど、英語の学習塾に行っただけでかなり力をつけている子との差がだんだん出てきていて、6年生段階で英語が苦手とかちょっと嫌いだと思わせてしまうことの切なさを発表されていました。

この先中学校へ行って、さらに本格的に英語が始まって、かつてであれば逆に中学1年生のとき、「好きな教科は何」って聞けば「英語」って挙げる子は90%を超えるんですよね、初めて中学に行って英語を勉強すると。

ところが、こうやって小学校から、早くから始まったことによって、もう小6段階で既に英語が苦手という子が出てきてしまうという、そのことに対しては、指導の側も考えていきたいということで、その先生の工夫では、「極力1時間の学習内容を絞り込んで、どの子もそれが使えるという状態をつくってから、クラス全体でお互いにコミュニケーションする場面をつくることを心がけている」という発表があったりして興味深いものでした。

それから、校長先生や教頭先生も全く平場で参加しているので、技術・家庭科のところなどに行ったとき、若い先生がかんながけの実践について発表したんですけど、そうしたら校長先生が自分が教えていたときには、子どもたちにかんながけは足の角度がどうかこうとかそういうことを言うんじゃないかと、「綱引きの引き方でかんなを引くとうまく引けるんだよ」というふうにして教えたらとてもうまくいったというような、具体的なわかりやすい説

明を助言してもらってお互いに共有しているような場面が幾つかあって、とても良い研修の場面になっているなあと思いました。

ただ、8月24日という日にちがまだ夏休みの学校もあり、多数参加している学校と、基本自主参加なのであんまり参加していない学校とがあるということを主催者から聞きました。働き方改革ということもあるんだけど、こういう同僚性を発揮して学べる場面へは、先生方にしっかり参加して研修してほしいなあと思いました。

もう1点は、今も三浦教育委員からありましたけど、9月5日の中学校の教育課程で、私は緑ヶ丘中学校で数学科のところに行かせてもらいました。

飯田・下伊那全体から70名近い数学の先生方が集まっての研修のところでしたので、こちらからごあいさつ申し上げたこともあるのですが、全国学調の結果などを見ると、小学校6年生のとき、ある程度の力があつた子たちが、中学3年になったときに若干伸び悩んでいるという状況について、「言いにくいんですが」と話をさせてもらって、「せっかくこれだけの先生方が集まっているので、そのことについてもご尽力と工夫いただきたい」という旨のお願いをしました。

緑中の当日の授業自体は、若い先生方が前面に出て、挑戦的な授業といいますか、「飯田の果物、豊作だもの」という単元なんですけど、要は平均気温を、統計を題材に取り上げて、全国で果物1位になっている市や県と、飯田市の平均気温をグラフでICTも活用して比べながら、全国1位になっているところより飯田市の平均気温のほうがその果物には適しているというのを幾つか取り上げて、それでお互いに情報共有しながら、「でも、そのグラフの作り方だとかこういう場合はどうなの」みたいなことをお互いに意見交換しながら学ぶという、とても画期的な単元を組んで取り組んでおられて非常に興味深かった。若い先生が前向きにやっているなあということを感じてうれしく見させていただきました。以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ほかには。

小澤教育委員、お願いします。

◇教育委員（小澤由美子） 私も教育課程の連絡協議会のほうで、高陵中学校のほうで技術・家庭科の授業を見させていただいたんですけど、だしをとって味噌汁を作って、その日はみんなで味見をしてということだったんですけども、班ごとでいろんなだしをとって作ってという感じだったんですけども、先生がとても上手に子どもたちを誘導して、1人としてそこで止まっている子がおらず、全部の班が終わって、またボソボソと感想を言ったりして、とても子どもたちが主体的に動いていて良い授業だったなあと感じることができました。

あと午後、また少し様子を見させていただいたんですが、家庭科と技術科に分かれて行っていたんですが、技術科のほうで今度入ってくるプログラミングを授業の先生たちの勉強をされていて、ちょっと最後まで見てくることができなかつたんですが、これからそういう授業が入ってくるので、得意な先生はいいですけど苦手な先生も頑張っているようで大変だなあと感じて見してきました。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

伊藤教育委員、お願いします。

◇教育委員（伊藤 昇） 私は理科だったんですけども、ちょっとそれを言おうと思ったんですが、今日、話の内容で印象的なところがあったので、ちょっとそのテーマから外しまして。

実は、先ほど市議会議員の新井議員が、いろんな教育に関してたくさん質問いただいています。教育長が「全市的な視野で研究する」といったその点について、ちょっと触れさせていただけます。

要するに、全市的な視点で研究していくのがよいのかということで、学校統合のことについて、あるいは義務教育学校について、いろいろ新井議員が非常に一步踏み込んだ質問をされているので。

例えば、小中連携一貫教育も施設一体型なら連携という言葉が挙がってくるだろうし、また、先ほどの中学の伸び悩みの話もそういった小中一貫教育の中では教科担任制で、先ほども英語の話もありますけれども、そういった面。あるいは、教員の数が不足しているといったところになれば、当然校長1人、教頭1人とかいうそういうような考え方で。

前回、磐田市と交流をした中で、磐田市は50年ぐらい先のビジョンをつくっている。要するに50年というのはもう学校が50年でもう施設がだめになるので、もう50年後のそこまでのルールを引いていて、もう5年後、10年後というと部落とかいろいろ学校区でいろいろ問題出るけれども、ボールを先のほうに投げると文句は出ないということでそういう提案がありました、提案というかそういうふうになっているという。

なので、飯田市もやはり全市的な視点、これはエリアの話ですけども、やっぱりこれ時間軸ではこういう長期的なものを持って、磐田市のようなものを持って、そういう考え方で教育長がおっしゃる「全市的な視点からでこの研究を始める」というのは、やはり一步踏み込んだ形をここでつくっていくということが小中連携、あるいはコミュニティスクールということを考えれば、中学校区ということでまとめますし、いろいろな面でここは今課題というものが施設のこともありますから、そういうことも全部考えた上で、この考え、「全市的

な視点から見る」というのをぜひ一歩進めていただきたいとそういうふうに思います。

もちろん市議会議員、これだけのことをおっしゃる方はいらっしゃるので、議員も含めて、地域の人を含めて、全市的にそういう組織を含めて踏み込んでいけたらなあというふうに思います。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

今、委員さんの報告の中でご質問等ありますでしょうか。

小澤教育委員、お願いします。

◇教育委員（小澤由美子） 私も今の伊藤教育委員の話聞いて、先ほどこの資料を見たときに、やっとそういう話が出てきたなあと思ってうれしく思います。

去年見せていただいた静岡のほうでしたっけ、1年生から9年生までのあの学校のスタイルもすごくいいなあと思って見てきたので、議員さんのほうからそういう話が出て、前々からそう思っていたじゃないですか、少し進めていけるとうれしいなあと思いました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ほかにありますでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、いろんな意見ありがとうございました。

（2）教育次長報告事項

○教育長（代田昭久） それでは続いて、（2）番「教育次長報告事項」お願いします。

◎教育次長（今村和男） 特にございません。

（3）学校教育課報告事項

○教育長（代田昭久） （3）番「学校教育課報告事項」お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） 特にございません。

（4）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、（4）番「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」お願いします。

北澤生涯学習・スポーツ課長、お願いします。

◎生涯学習・スポーツ課長（北澤俊規） それでは、資料No. 1の「第3回中学生期スポーツ活動に関する意見交換会のまとめ」ということで、先ほど教育長からの話がありましたように

8月25日に開催されました、松尾公民館で。この会議、教育委員の皆様もご出席いただきましてありがとうございます。また、出席されなかった委員さんについては当日の資料をお渡ししました、それを見ながらということでもよろしくお願いいたします。

報告については、教育長からの話があったとおりでございますけれども、目的と内容としましては、さまざまな立場から視点から話を聞きたいということで、前2回につきましては、主に学校とスポーツ関係者の会議でしたが、それに加えてまちづくり委員会や公民館、教育委員、それから議員の皆さん、幅広く参加をいただいたということで、そういった意見を踏まえてということで、あとプロのスポーツの取組の発表があったということ、それから、地域の積極的な取組があったということです。

2の「発言内容」につきましては、教育長のほうから改めて飯田市教育委員会の考え方をお示しさせていただいて、地域での取組みの発表があります。

それから、プロスポーツからの取組について発表がありましたけれども、地域については本当に積極的に取り組んでいて、「これからも前向きに取り組んでいきたい」という積極的な意見をいただきました。

また、既存の団体についても活動を見直していきたいと、それからさらに一步踏み込んだ、保護者の方にも理解を努めていきたいというようなこともありました。

それから、プロスポーツについての取組については、おおむね地域と連携した活動が大事だということと、技術だけではなくて社会性・協調性、スポーツマンシップを備えた人間性を育てたいという発表がありました。

それから、めくっていただいて、意見交換の内容については登壇された皆さん、それぞれこういったメンバーで意見交換をされましたけれども、主な発言内容については、競技別スクールについては、プロスポーツからも協力したいということで、3競技の皆さん協力いただけるということと、特に地域づくり、地域の活性化にスポーツを通じて取り組んでいきたいということで、それぞれのプロスポーツの関係、皆さんそういった発言をいただいたということで「地域を重視する」ということで。

新たな提案としてはシーズン制、いわゆる1種目だけ取り組むことはなく、多くの種目を体験することでどうかということで、そういったものはどうかということで、なかなか日本でもあんまり見たことのないような制度でありますけれども、こういった提案もなされたということで、「部活動は将来どうなるか」とそのような意見もありましたが、そういったような発言がございました。

それから、確認事項ということで改めて確認をさせていただきましたけれども、サッカー、

バスケットボール、バレーボール、プロスポーツの協力を得て、来年1月か2月、競技別全市型スポーツスクールが試行できる可能性が出てきたということで、これはちょっとこれから実現に向けて取り組んでいきたいと思います。

それから、中学校を単位にした中学生の多様な選択肢をつくるための地域での取組ということと、それから、既存のスポーツ団体、各地区で行われている団体についても、教育長のほうからさっき説明をしましたがけれども、実際のところ「中学生を受け入れてもいいよ」という団体があるということがわかりましたので、これもまた1つの選択肢になっていくのかと思っています。

それから、今後の方向につきましては、体育協会、各競技団体と連携した競技型スポーツスクールの通年実施、1月・2月から試行にしまして、次の年には継続してできるような通年実施。

それから、他の種目に限らずということで実現できるようにということに取り組んでいきたいということ、中学校区を単位にした中学生に多様な選択肢をつくるために地域でも取組はあるんですが、こちら連携しながら、当然支援しながらということで取り組んでいきたいというふうに思います。

それから、3と4については長期的な話になってきますけれど、これをやった競技団体と連携して、まずは体育協会ですね、指導者の育成方策についての検討、それから、青少年スポーツにおける、これはもう長期的ですが、シーズン制導入の研究も行っていきたいというふうに思っています。

以上、生涯学習・スポーツ課の25日の報告のほうをさせていただきました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（5）文化財関係報告事項

○教育長（代田昭久） 「文化財関係報告事項」をお願いします。

馬場課長、お願いします。

◎文化財担当課長（馬場保之） 本日、お手元に「恒川NEWS20号」をお配りさせていただきました。

10月の14日の月曜日、祝日になりますけれども、現在調査中の恒川官衙遺跡におきまして、税として納められた米を納めた倉、正倉という建物の礎石というものが見つかって調査を進めております。

全国的にも非常に珍しいというか、これだけ残っているものは例が少ないということであ

りますので、ぜひ、また足を運んでいただければと思いますし、あるいは平日調査をしているときには、10時から3時までの間、自由にご見学いただくことができるように昨年度やっておりますので、ぜひ、もし10月14日にご都合のつかない方でも、その前後に来ていただければというふうに思います。

よろしく願いいたします。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（6）文化会館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、「文化会館関係報告事項」をお願いします。

棚田文化会館館長、お願いします。

◎文化会館長（棚田昭彦） 資料No.2をご覧いただきたいと思います。人形劇まちづくりの推進に関する取り組みについてご説明させていただきます。

1番、公演事業でございますが、今後の予定で、定期公演の1つが「せかいの劇場」の定期公演があります。10月23日から27日、スペインの人形劇団が来て公演をする予定でございます。

次にまいります。2番の「人形劇創造支援事業」でございますが、(3)の今後の予定でございますが、ご覧のとおり人形劇のそれぞれの講座を開催しておりますし、一番下にちょっと太文字になっていますが、伊那谷の文化を題材とした活用事業を行っております。

次にまいります。3「いいだ人形劇フェスタ」の関係でございますが、今後の予定、一番下の欄をご覧いただきたいと思いますが、雲林の「国際人形劇フェスティバル」、台湾でございます。そちらのほうに飯田女子高等学校の人形劇クラブが劇団ということで台湾へ劇団の派遣をするという予定になっております。10月10日から14日になっております。

次のページご覧いただきたいと思います。

4番、「伝統人形劇芝居振興事業」でございますが、(2)番のところに、ちょっともう終わったものでございますが、8月31日に人形浄瑠璃の中学生サミットが開催されまして、80人の中学生が参加されております。

今後は、三味線の研修等をする予定です。

6番になりますが、「人形劇のまち国際化推進事業」でございます。以前、ご説明させていただきました(2)番の今後の予定で、AVIAMAの総会がございまして、役員都市訪問ということで、市長がピルゼンとトローサのほうへ訪問します。また、シャルルヴィル・

メジャーでも今後26日に行われまして、総会が9月27から28とございまして、こちらのほうは市長と教育長が出席されます。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（7）図書館関係報告事業

○教育長（代田昭久） 続いて、「図書館関係報告事項」をお願いします。

瀧本中央図書館館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。資料No.3「よむとす事業報告及び予定」をお願いいたします。

報告のところで（3）ですが、先日9月8日に「南信州お仕事キッズタウン」がエス・ボードで行われました。図書館もブース参加してきまして、本の貸し出し体験ということで、幼児から小学生の子どもたち80人ほどが貸し出し体験を行って、その中で借りていける子どもさんはお家まで本を借りていただいております。

それから、（6）ですが、「南信州新聞デジタル化」ということで、図書館では、地元の新聞のデジタル化を進めておりますけれども、四角の中にありますように、明治から南信新聞のようにデジタルになっているものがありまして、利用者の方に調べ物としてご利用をいただいております。

本年度、南信州新聞の平成27年分をデータベースに載せることができまして、南信州新聞と信州日報は日付からだけではなくてキーワードから記事が検索可能になっておりますので大勢の方に活用をいただいております。

それから、予定のところで、来週9月19日ですが、県の図書館協会と共催で「地域連携講座」を行います。図書館職員によります書庫のご案内と郷土資料の探し方と、歴史研究所の羽田研究員によります大平街道争論についての講座がありますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（8）美術博物館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、「美術博物館関係報告事項」をお願いします。

池戸美術博物館副館長、お願いします。

◎美術博物館副館長（池戸通徳） お手元にカラーのチラシが6枚ございますのでご覧ください。

芸術の秋が深まってまいりまして幾つか紹介を行います。

始めにピンク色からです。実は、第1講が昨日の夜ございましたので、その報告がてら「春草の研究方針を探る」という学芸員による講座のご案内をいたします。

昨夜は全部で18名いらっしゃいましたが、その内女性が6名、その内若い女性が3名、その内の2人は東京からわざわざ春草のことを聞きにきて、ホテルオオハシに泊まるという流れを言っていただきまして驚いた次第です。

「春草の研究方針を探る」ということで、第1講は「古画の研究」、第2講が「写実の研究」、そして、第3講、「自己の考按」ということで、私も拝聴いたしました。

この言葉それぞれすべて書いてあるとおり、春草が明治43年の7月に言った言葉ということで、これを読み解きながら、彼がいったいどのような研究をしてきたのかということの講座を3つに分けて行っていくというものであります。

第2講、第3講もぜひ良い話が聞けるかなあというふうにご期待をしておりますのでご説明をさせていただきます。

2つ目、水色のチラシです。「伊那谷にゾウがいた頃」ということで、古生物の関係であります。学芸員のほうで9月14日午後1時半から講義を行うものでございます。

3つ目、緑色であります。これは美術講座でございまして、第3講「絵とわたし」というテーマでございまして、日にちが9月21日の土曜日午後1時半からということで、こちら人気の洋画家、遠藤彰子さんをお招きしてということです。遠藤先生は武蔵野芸術大学の名誉教授でございまして洋画家でございまして。多分たくさんの方が来るのではないかとこのふうにご期待をしておりますのでございます。

4つ目、黄色の紙でございまして。プラネタリウムの9月の特別講演は「たっぷりプラネタリウム「月博士をめざそう」」ということで、当館の担当が月のことについてしっかりお話をするとということで、月面着陸から50周年ということを記念する講演ということになっております。プラネタリウムを使ってのものとなります。

続いて、カラーのチラシが2つございますが、そのうちの1つ、特別陳列「60年前の記憶 遙かなる遠山郷」をご覧いただきたいですが、もう既に展示は先週から始まりました。見てほしいのは裏側です。裏側の下のところの付属事業に、講演会「遙かなる遠山郷の記憶と民俗」ということで、写真家の塚原琢哉先生をお呼びし9月29日の午後1時半から講演会。そして、見学会を2カ所で行います。1つは「遠山郷の下栗を体感する」ということで下栗へ行くということ、それから、関連事業の下のほうにもありますが、上村のまつり伝承

館を使っても行うということがございます。こちらもお知らせとしてご紹介します。

そして最後、「南信州民俗芸能フォーラム」がございます。これ主催は、南信州民俗芸能継承推進協議会であり、当美術博物館が共催ということで行っております。

日時は10月5日の土曜日、鼎文化センターにおきまして、國學院大學の小川教授を迎えましてお話を聞く。それから、基調講演では、パネルディスカッションとともに長野県立歴史館の笹本館長さんにお越しいただくというそんな内容でございます。

以上です。よろしく申し上げます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

（9）歴史研究所関係報告事項

○教育長（代田昭久） それでは、「歴史研究所関係報告事項」をお願いします。

小椋歴史研究所副所長、お願いします。

◎歴史研究所副所長（小椋貴彦） 歴史研究所から口頭で報告させていただきます。

先週の9月7日・8日と「第17回地域史研究集会」を開催いたしました。今回は「飯田・下伊那の蚕糸業と地域社会」というテーマで行いました。

ご承知のとおり現在は衰退してしまいましたが、生糸については特に原料の繭を生産する養蚕業については当地域をはじめ農村社会を経済的に支えてきたものであります。

今回の研究集会は、「蚕糸業に支えられた時代、この地域における蚕糸業の歴史を改めて振り返りまして、飯田・下伊那の人々や社会にどのような影響を与えたか」について研究報告をしていただいたものであります。

参加者は、2日間で延べ163名でありました。また、細かい報告につきましては、来月の教育委員会定例会のほうでお示しをしたいと思います。

報告は以上であります。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま報告がありました学校教育課から歴史研究所まで、報告事項に関する質問ご意見等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、それではよろしく申し上げます。

（10）今後の日程について

○教育長（代田昭久） 10番、今後の日程について、お願いします。

滝沢学校教育課長補佐をお願いします。

◎学校教育課課長補佐（滝沢拓洋） はい、それでは、定例会会議資料の3ページ目をご覧くださいと思います。今後の日程ということで、主なものについて記載をさせていただきます。

9月30日から教育委員の皆さん方によります学校訪問が始まりますのでよろしくお願
いしたいと思います。詳細は、教育委員さんのみに配付させていただきましたが、ご確認を
いただきたいと思います。

以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

教育委員の訪問、また今年も始まりますがよろしくお願いたします。

本日予定された議案、日程等は以上ですが、何かその他でご報告ありますでしょうか。よ
ろしいでしょうか。

（発言する者なし）

日程第10 閉会

○教育長（代田昭久） はい、それでは結びとなりますが、小澤教育委員よりご挨拶をいただき
たいと思いますのでよろしくお願いいたします。

◇教育委員（小澤由美子） 先ほど教育長さんからお話がありましたが、10月の8日で満期にな
り任期が終わりますので、まだあと1ヶ月弱ありまして、学校訪問もありますので、それま
でよろしくお願いいたします。

私は、PTAから教育委員ということでやらせていただいたんですけども、本当に何も
わからなくて、どうしたらいいかわからなかったんですが、教育長さんから「保護者目線
で思ったことを言ってくればいいから」と言っていて、また、職場や地域の子育て中
の保護者の皆様の話とかを聞いて、なるべく生の声を届けようとしてきました。けれど
も、わからないことが本当に多くて、皆さんに暖かく見守っていただきながら何とか務
めることができそうです。

教育長さんをはじめ、ほかの委員の皆様、また、事務局の皆さんがいろいろサポート
していただいて、最初のころなんかどこの資料を見ていいのかもわからなくて、すぐサ
ッと飛んできてくれて「ここです、ここです」とやっていただいて、そんな感じで、
今もそんなには変わってないんですけども、3年間いろいろ勉強させていただきました。

こんなにも市のほうで子どもたちのことをいろいろやってくれているということを知ら

なかったです。それから、この間行われた教育課程の連絡協議会でも、先生たちの勉強なんですけれども、「今日は先生たちの勉強会だから学校休みだ」くらいの気分だったんですが、こんなにも授業を良くしようと思って先生たちが勉強してくださっている。それから、またそれを支えようと指導主事の先生たちがいろいろ苦勞してくれている。事務局の方々が一生懸命日頃努力をしてくださっている。そういうことを知ることができただけでも3年間とても貴重な日々だったなあと思います。

本当は練習してきて、もうちょっと上手にあいさつできるはずだったんですが、わからなくなっちゃって。

皆さんと出会えたということも、私にとっては本当に貴重な3年間だったと思います。これからますますこの飯田市の子どもたちのためにご尽力いただきたいなあと思います。それから、最後に、ますますの教育委員会のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈りして御礼の言葉とさせていただきますと思います。

本当にありがとうございました。

(拍手)

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

固いあいさつは苦手だと思いますので、またゆっくりとしたところでも語っていただければと思いますが、本当にどうもありがとうございました。

それでは特になければ、以上をもちまして9月定例会を閉じさせていただきます。

本日もどうもありがとうございました。

閉 会 午後4時01分